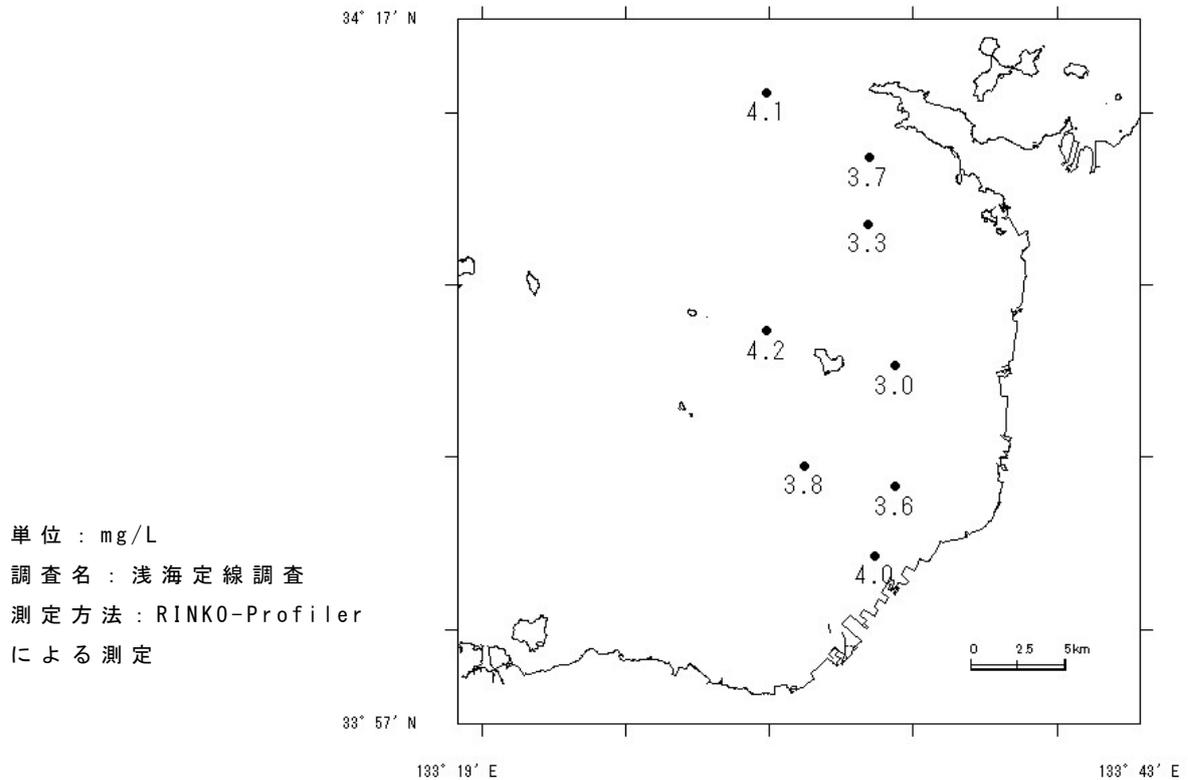


燧灘貧酸素情報（第 1 号）

香川県水産試験場

7月5日観測結果

7月5日現在，燧灘底層の溶存酸素量が減少してきており，底層に生息する生物の生息環境が悪化してきています。6月15日の時点では溶存酸素量は最低でも5.0mg/Lありましたが，その後岸寄りで急速に減少しました。今後はさらに岸寄りにも測点を設け，観測結果をお知らせします（次回7月中旬の予定）。



底層の溶存酸素量

溶存酸素量（DO）の目安*

溶存酸素量	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。